

「市長記者会見」の概要

■日時 令和5年7月26日（水）午後2時

■会場 千曲市役所 応接会議室・庁議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、読売新聞、新建新聞、長野市民新聞、NHK 長野放送局、TSB テレビ信州

■内容（プレスリリース）

- 1 （仮称）屋代スマートインターチェンジ整備事業
- 2 空家等対策に関する協定の締結
- 3 【千曲市誕生20周年記念事業】「鬼越トマホーク」と市のコラボ動画のYouTube配信
- 4 千曲市役所公式YouTubeチャンネルの収益化

■市政全般について

【質疑応答】

○市制20年を振り返って

問 合併20年での成果と課題は。

回答 旧1市2町には、それぞれ地域資源があり、それらを千曲市の魅力として売り出し、かつての更級地域、埴科地域の更埴地域が千曲市というイメージが定着しつつあるのではないかと考える。成果として、各種公共施設の整備、学校の耐震化、インフラ整備も順調に進んでいると考える。課題は、地理的形狀の違いから、北部地区と南部地区において地域開発のバランスに不公平感を感じている市民の方もいらっしゃるのでは、20年を節目とし、次へのスタートとして、すべての事業が千曲市全体での取り組みであるという一体感を醸成し、豊かさを感じてもらえるよう取り組みたい。

○杏のトップセールスについて

問 東京都や愛媛県宇和島市での杏のトップセールスの手ごたえは。不作という話もあるが影響はあったのか。

回答 生で杏を食べたことがない方がまだまだ多くいらっしゃるようで、喜んでお買い求めいただいた。品数が足りないということはなく通常通りの販売ができた。

問 主に売れたのは、プレミアムハーコットか。

回答 プレミアムハーコット「杏月」は、東京都内の限られた場所で販売し、飛ぶように売れたと感じている。通常のハーコットも年々知名度が高くなり多くのお客様に購入して

いただいている。

問 即日完売したということか。地元メディアの報道はあったのか。

回答 宇和島市での販売は生で食べたことのない方々に大変好評を博し、来年以降も積極的に販売していきたい。地元の新聞社、ケーブルテレビの取材を受けた。

終了 午後2時38分